

令和7年度一般会計補正予算(第8号) 原案可決(賛成全員)
歳入歳出予算総額に9616万円を追加(総額143億4401万円)

令和7年度一般会計補正予算(第9号) 原案可決(賛成全員)
歳入歳出予算総額に4億1466万円を追加(総額147億5867万円)

令和7年度一般会計補正予算(第10号) 原案可決(賛成全員)
歳入歳出予算総額から3億4647万円を減額(総額144億1220万円)

令和7年度一般会計補正予算(第11号) 原案可決(賛成全員)
歳入歳出予算総額から1億200万円を増額(総額145億1420万円)

補正予算 議案審議

子育て・福祉・まちづくり等… 町民のために

子育て・福祉

子育て世帯に応援手当を支給

◇物価高対応子育て応援
手当支給事業費補助金 9616万円

0歳から高校3年生までの児童手当支給
対象児童を養育する父母等を対象に、子ども一人当たり一律2万円を支給。

町内の介護サービス事業所等を支援

◇介護サービス事業所等
物価高騰対策支援事業 877万円

玉村消防署訓練棟の劣化調査費用を計上

◇消防署管理事業 39万円

その他

営農継続のために畜産農家を支援

◇飼料価格高騰緊急対策事業 220万円
畜産農家に、配合飼料購入費の助成、自家利用の飼料耕作者に対する奨励金の交付。

小型獣の増加に伴う有害鳥獣駆除委託料を増額

◇有害鳥獣駆除事業 50万円

Tama Voice

飼料価格は高騰していますが、牛乳の価格は上がりづらいです。ぜひ牛乳をたくさん飲んで、地元農家を支えてもらいたいです。 根岸 貴明さん(飯塚)



町内の介護サービス事業所等に対し、物価高騰による負担増に対する助成。
老人福祉センターの看板等を改修

◇老人福祉センター
管理運営事業 39万円

老人福祉センターの名称変更に伴い、看板等を改修。

まちづくり

町内で使える商品券を配布

◇物価高騰対応お買い物等支援事業 3億8143万円

物価高騰の影響を受ける町民生活の支援・地域経済の活性化を目的に、全町民に一人当たり1万円の「たまむら地域商品券」を5月中に配布予定。

北部公園の噴水施設を修繕

◇北部公園管理事業 102万円
北部公園の噴水施設のろ過ポンプを修繕。

条例の整備

職員等の旅費の計算等に係る規定の見直し(原案可決)

日当を廃止し宿泊手当へ変更するなど、国家公務員の旅費制度に準じて見直しを行うもの。

庁舎増築に向け基金を設置(原案可決)

庁舎増築に向けて、設計や工事に費用がかかるため、基金を設置し財源を確保するもの。



野生鳥獣による農作物の被害が増加している

交通・防犯

町内で営業する公共交通事業者を支援

◇地域公共交通運行継続支援事業 310万円

町内で営業する公共交通事業者に対し、運行継続支援金を交付。

あらゆる差別をなくし人権侵害が生じることのない社会の実現を(原案可決)

人権を巡る問題が複雑化している現状を踏まえ、町として、誰もが互いに個性を尊重し、あらゆる差別をなくして人権侵害が生じることのない社会の実現を目指すもの。

災害弔慰金支給等の事務を規定(原案可決)

災害弔慰金の支給等について、これまで群馬県市町村総合事務組合が共同処理で実施していた事務を取りやめるため、町独自で定めるもの。

「子ども誰でも通園制度」実施のための条例を整備(原案可決)

制度の実施に当たり、施設や事業者は町の「確認」を受ける必要があり、その確認をする際の基準を定めたもの。

手話言語で安心して暮らすことができる社会の実現を(原案可決)

手話言語の理解と広がりをもって地域で支え合い、手話言語を使って安心して暮らすことができる「共生社会の実現」を目指すもの。



子供たちが楽しみにしている北部公園の噴水。GWまでには修繕予定

学校開放において空調設備使用料を徴収(原案可決)

いわゆる学校開放における夏場の学校体育館の空調設備(冷房に限る)を使用した際の使用料を徴収するため制定するもの。



学校開放において、夏場の空調設備使用時には使用料を徴収

人事案件

人権擁護委員の推薦

同意(賛成全員)

小此木 由紀さん(上新田) 新任
任期 令和8年7月1日から3年間

監査委員の選任

同意(賛成全員)

信澤 一男さん(上新田) 新任
任期 令和8年4月1日から4年間

副町長の選任

同意(賛成全員)

萩原 保宏さん(樋越) 再任
任期 令和12年4月30日まで

月田副議長 自治功労者表彰受賞

月田均副議長が群馬県町村議会議長会 自治功労者表彰を受賞され、3月定例会で表彰状の伝達を行いました。受賞おめでとうございます!



新井議長から表彰される月田副議長

玉村町子ども議会

日時 令和7年12月25日(木)

場所 玉村町役場4階・議場

未来を担う声が議場に響く

今回の「玉村町子ども議会」は、町立小中学校7校の代表14名のほかに、玉村高校からの代表者1名を加え、総勢15名による一般質問となりました。

子ども議会議員からの質問内容は「福祉・災害対応・伝統芸能の継承」に関する質問のほか、「学校間の交流促進・地域の活性化」に関する質問があり、「交通安全やインフラ整備」に関する質問は7件ありました。日々の生活の中から気づいた点や問題点を見だし、自分ごととして捉え、質問や提案に生かしていることが感じられる内容となりました。

子どもたちの質問に対しては本番さながらの丁寧な答弁が行われましたが、そこに注がれる子どもたちの熱いまなざしが大変印象的でした。



総勢15名の子ども議会議員たちが議場に集いました